

山下小 4年生への出前講座

タイトル「金目川を知ろう」

- ・授業実施日 2021年11月26日（金）朝8時45分から12時
- ・参加者 生徒76名 先生方3名 かなめネット10名
- ・体育館にて実施

講座の内容

最初は全員に今年の鳥についてパワーポイントにて授業、続いて4班（1班は19名）に分けて植物、魚、石、液状化実験を順繰りに授業を行った。

鳥の授業

今年の出来事として、主として動画を用い、①金目川や街路樹に訪れたレンジャクの生活、②カルガモの親子と雛の成長経過、③コチドリの親子、の話をしました。また、せせらぎ通信(カルガモの親子掲載号)も、全員に配布しました。生徒は、熱心に動画を見たり、説明を聞いてくれ、レンジャクの区別ができたり、カルガモやコチドリの雛の無邪気な姿を楽しんでくれたようで、苦労して準備した甲斐があったというものです。（担当 佐藤道夫）



植物の授業

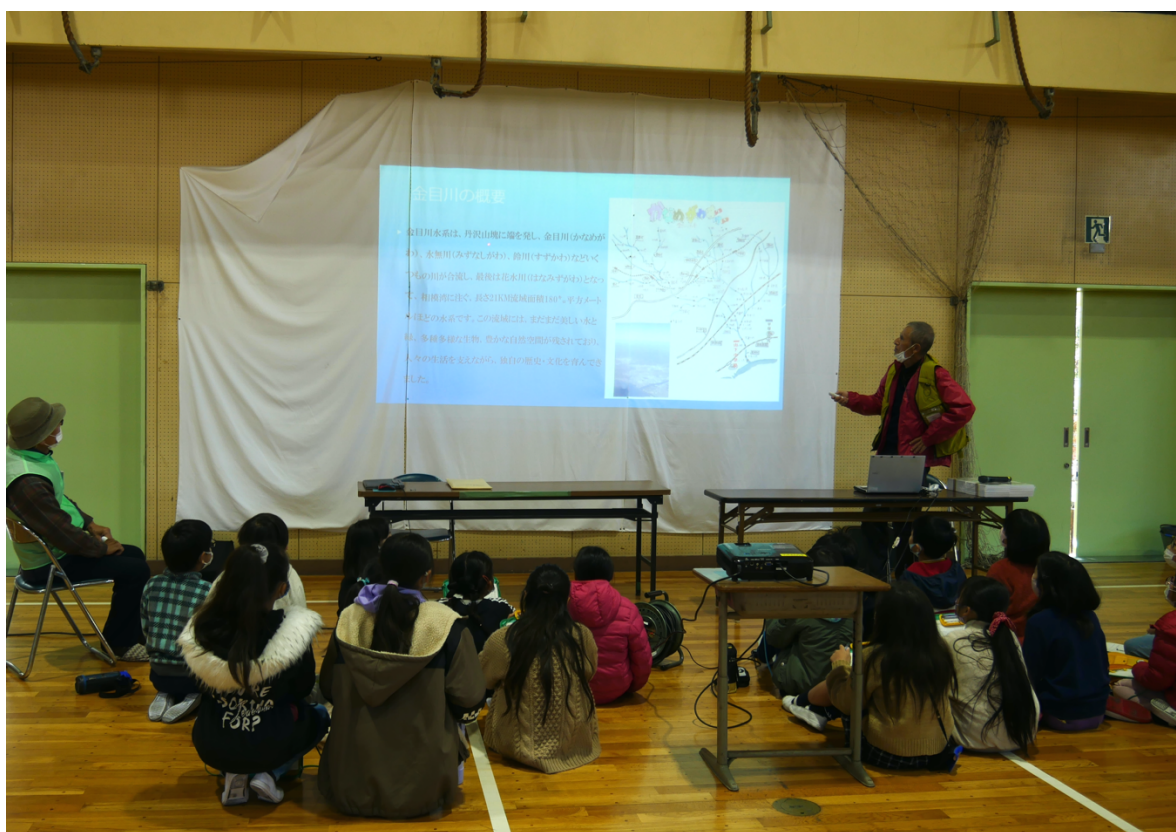
金目川の土手や川原に生えている雑草を過去に押し花にしていました。押し花を中心にキンノエノコロほかを丹念に教えました。足元の雑草の中に自然を豊かにする風景が潜んでいることの気づきと自然を大切にしようと教えました。

又、人がそれぞれ違いのあるように、植物にもいろいろな種類があることを教え、一生懸命な4年生の印象が際立っていました。匂いのハーブミント、ローズマリーゲッケイジュをプレゼントいたしました、(担当 柳川三郎、坂井昇、柳川美津江)



魚の授業

パワーポイントにてあゆをはじめ 15 種の動画を生徒は熱心に視聴してくれ、私は感謝です。生徒たちは魚、自然環境に関心を持っているとうかがえました。金目川に住んでいる魚について詳しく説明をして効果はかなりありました。生きた魚を水槽で展示をしましたが濁ってしまいちだった、もっと透明なきれいな水を使うべきだと反省しています。又、あゆを見たいとの声が大きく、美しいあゆを見せてあげたい思いです。(担当 永尾貴一、府川清、関戸恵介)



石の授業

河口・中流・上流の石を用意し、触ったり持ちあげたりさせ、それぞれの違いを体感させました。河口には石はなく粒のそろった砂でしたが、子どもたちは「砂利だ」と言っていました。中流の石については「すべすべしている」「水切りができそう」、上流の石については「ざらざらしている」「重い」という感想でした。30 cmの物差しを写し込んだ、それぞれの河原の写真を見せ、上流には大きな石があることを確認しました。4年生の反応は高く、充実した時を過ごしました。(担当 露木正巳)



液状化の授業

まず、液状化のポスターを使用して、液状化現象の内容とその発生条件や恐れのある土地について話し、全員に、その内容と被害地の写真を配布しました。例として10年前の東日本大震災時のディズニーランドとその周辺、および平塚市内での被害写真パネルを見てもらいました。そして、液状化実験装置を使い、実際にどのような液状化が起きるかを見て4年生は実感ができたと思います。

各班とも液状化実験を熱心に見て感動を与えることができました。(担当 篠原憲一)



立体自然模型

手作りの立体自然模型を休憩時に見てもらいました。丹念に熱心に手づくりした労作は平面の画と違い、その深みに4年生に新しいインパクトを与えることができました。(担当 岩本勲、坂井昇)